

SPORTEC2025 に出展しました

SPORTEC2025 とは

世界中のスポーツ関係企業・団体が、最新製品・技術・サービスを発表する日本最大のスポーツ・健康産業に関する国際的な総合展示会です。

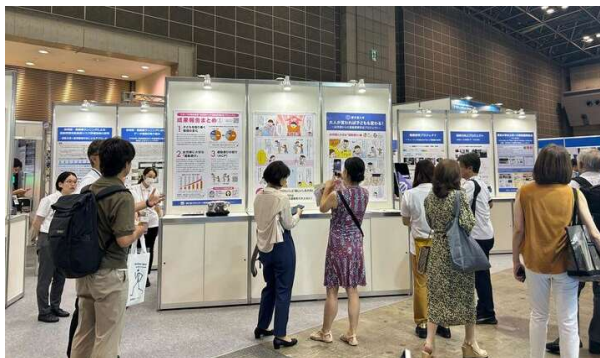
「スポーツ人口を増やし、スポーツ競技力向上と健康社会を実現する」をビジョンに掲げ、スポーツを「もっと身近に」「もっと推進する」ことを目的に 2009 年から毎年開催されています。

順天堂大学の出展ブースについて

アクティブライフ共創コンソーシアムに関わりのある 6 大学の中で、順天堂大学は

「大人が変われば子どもも変わる！～幼児期からの運動習慣形成プロジェクト～」をテーマに、2 種類のポスターを展示しました。

- ① 幼児期に大切な「運動遊び」編
- ② 子どもの運動習慣形成に大切な「大人のフィジカルリテラシー」編



多くの来場者がポスター展示前で足を止め、スタッフに質問したりポスターの写真を撮ったりと終日賑わいをみせていました。

セミナーの開催

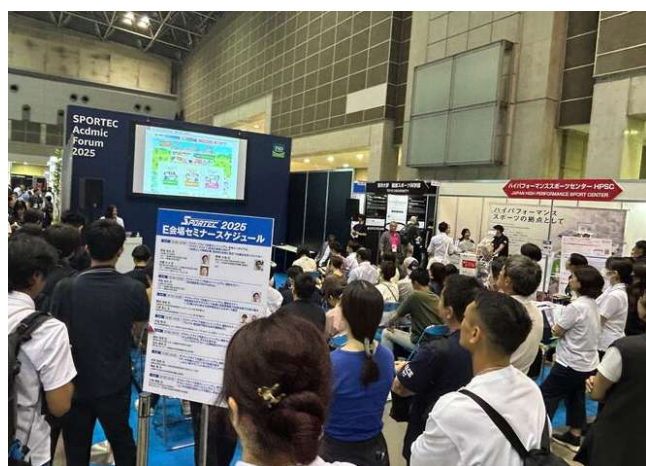
- ・ アクティブライフ共創コンソーシアム全体セミナーでは、内藤久士教授（スポーツ健康科学部）が、順天堂大学の歩みとスポーツ健康医科学推進機構（JASMS）の設立について話されました。

また、個別セミナーでは、鈴木宏哉教授（スポーツ健康科学部）と松永美咲博士研究員（スポーツ健康医科学推進機構）が、子どもを取り巻く環境が変化していく中、幅広く運動に関われる環境づくりが大切であり、幼児期の運動遊びは運動習慣と将来の運動能力の土台になるといった説明がありました。

どちらも予約席は満席で、立ちながら発表を聞く人たちの姿が多くみられました。



「アクティブライフ」社会の実現に向けて
 ～如何にして民間企業・自治体と社会に役立つ仕組みを作っていくか～
 （アクティブライフ共創コンソーシアム 全体セミナー）
 内藤久士教授（スポーツ健康科学部）



大人が変われば、子どもも変わる！ーフィジカルリテラシーと運動遊びのチカラー
 （アクティブライフ共創コンソーシアム 個別セミナー）
 鈴木宏哉教授（スポーツ健康科学部）
 松永美咲博士研究員（スポーツ健康医科学推進機構）

- ・ “「スポーツ×宇宙」―人類の活動の可能性を広げる知見の共有”セミナーでは、和氣秀文学部長（スポーツ健康科学部）が、2018年に会長を務められた「第64回日本宇宙航空環境医学会大会」について話されました。共催の公開講座として開催された「宇宙で行うスポーツ競技 ～宇宙スポーツ大会開催を目指して～」において、小学4～6年生を対象に募集した「宇宙でやってみたいスポーツ競技」の絵やルール、大学生を対象に募集した宇宙ステーション内で行う無重力環境を活かした、楽しく、安全で、競技性があり、体力維持にもつながる“実現可能”なスポーも紹介され、多くの方が興味深く聞き入っていました。



SSSSSS

「スポーツ×宇宙」―人類の活動の可能性を広げる知見の共有

和氣秀文学部長（スポーツ健康科学部）

- ・ “人生100年時代、運動・スポーツを通じてライフパフォーマンスを高めよう！ ～官・学協会の連携した取り組み～”セミナーでは、相澤純也教授（保健医療学部）が登壇されました。こちらのセミナーは「SPORTEC2025」開催前の早い段階から予約で満席となり、当日、会場に足を運んだものの聴講できない人の姿も見受けられました。

皆様のご協力のおかげで成功裏に終えることができました。心より御礼申し上げます。